

南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画（静岡市域版）

中期実行計画 年次報告書
（令和４年度）



令和５年11月
静岡市

《目 次》

1	はじめに	1
2	評価指標の状況	2
3	令和4年度の実施内容	3
1	自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）	3
2	調査と教育（学術的研究支援の機能）	8
3	地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）	15
4	理念の継承と管理運営体制の構築 （3つの機能を支える連携機能）	31
4	関連組織の活動状況	33
5	モニタリング実施状況	37
6	中期実行計画 総合分析	46

1 はじめに

この年次報告書は、「南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）中期実行計画」（以下、「中期実行計画」という。）に掲載した事業の進捗を把握し、適切な見直しを行うとともに、市民をはじめとした多くの方に、本市における南アルプスユネスコエコパークの取組をお知らせするために発行するものです。



新型コロナウイルス感染症により営業中止していた山小屋が3年ぶりに営業再開



高山植物保護セミナー

2 評価指標の状況

本市では、南アルプスユネスコエコパークの取組を推進するにあたり、4つの基本方針の柱を掲げています。

実行計画では、この柱に基づき実施する事業の評価指標を掲げており、その進捗を次に示します。

【凡例】◎：達成(R4目標年度) ○：達成見込み △：要調整 ×：達成困難（未達成）－：中止

基本方針の柱	評価指標・令和4年度目標値	進捗状況			
		元年度	2年度	3年度	4年度
自然環境の保全	ライチョウが市内に生息している人の割合（★） 37%（平成30年度） → 45%	54%	56%	59%	47%
		○	○	○	◎
	南アルプス主要地域の高山植物種数 15種（平成25年度） → 15種	13種(33種)	13種(33種)	13種(33種)	13種(37種)
		○	○	○	◎
調査と教育	南アルプスモニタリング調査の実施と公表 （生活環境、自然環境、学術的調査・教育、社会状況） 毎年度実施と公表	実施 公表	実施 公表	実施 公表	実施 公表
		○	○	○	◎
	南アルプスユネスコエコパーク出前授業受講児童（井川自然の家利用児童、その他児童） 及び市政出前講座受講者の「南アルプスの自然を守っていききたい」と思う人の割合 毎年度95%以上	99%	99%	97%	95%
		○	○	○	◎
地域の持続的な発展	市が地域住民・団体と協働実施した事業及び 地域主催の地域振興事業 21事業（平成30年度） → 23事業	21事業	8事業	12事業	15事業
		○	△	△	×
	井川地域内施設入込客数 158.5千人（平成29年度） → 170.0千人	155.4千人	82.6千人	79.6千人	105.7千人
		△	△	△	×
管理運営体制と 理念の継承	南アルプスユネスコエコパークの認知度（★） 47%（平成30年度） → 54%	51%	60%	60%	48%
		○	○	○	×

※★印は環境基本計画策定時に行った市民アンケートの結果を記載。令和元～3年度については、各種イベント等でのアンケート結果を参考数値として記載。

※高山植物種数（ ）内数は確認された全ての高山植物種数。基準年度に確認された15種から同調査区域において大幅に種数が増加していることを考慮し評価した。

3 令和4年度の実施内容

1 自然環境の保全（生物多様性の保全の機能）

（1）南アルプスの自然環境の保全

南アルプスの自然環境の保全を進めるうえでの考え方を示している項目であるため、個別事業は掲載していません。

（2）つながりを意識した一体的な保全

1）連携・協働体制の強化

組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 33
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

2）来訪者のルール作りと啓発活動の推進

事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	
組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 33
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

【事業No.19】 静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業

① ホームページによる啓発

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に関する情報（条例制定の目的、適用を受ける林道、通行許可に関する情報、禁止行為、通行規制等）を静岡市ホームページに掲載し、条例の啓発を行った。

利用者の利便性を高めるため、ホームページに条文、林道地図、通行許可に係る審査基準、林道規制情報等のリンクを貼り、関連する情報に容易にアクセスすることができるようにした。

また、林道規制情報は、冬期閉鎖終了後速やかに情報を更新し、利用者に最新の通行情報を提供した。

URL : https://www.city.shizuoka.lg.jp/136_000008.html

② 現地への標識設置による啓発

南アルプスユネスコエコパーク登録地域内に18箇所設置している林道標識により、通行にかかる注意事項や禁止事項、林道東俣線については通行許可が必要な旨を通行者に周知するとともに、南アルプスユネスコエコパークのロゴマークを表示し普及啓発を図った。

(3) 高山帯から山麓に広がる自然環境の保全

1) 高山植物の保護に向けた取組の推進

事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

【事業No.12】高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 防鹿柵の設置・維持管理

ニホンジカの食害等から高山植物を保護するため、防鹿柵の立上、養生撤去、維持管理及び柵内の植生調査等を行った。

〔令和4年度設置場所〕

- ・中岳避難小屋周辺（クロユリ群生地）
約 189㎡（既存）
- ・千枚小屋周辺（オオサクラソウ生育地）
約6,667㎡（既存）
- ・熊の平小屋周辺 ※試験設置、常設
約 3.84㎡（既存）



クロユリ



オオサクラソウ



防鹿柵の設置状況

② 自動撮影カメラの設置

ニホンジカの生息状況を調査するため、千枚小屋周辺防鹿柵の周辺に自動撮影カメラを設置した。

③ 高山植物保護セミナーの開催

高山植物保護に取り組む人材の育成、環境保護意識の向上のため、市内高等学校の山岳部・登山部員を対象に、ニホンジカによる高山植物の食害の現状を学ぶとともに、高山植物保護活動を体験するセミナーを開催している。

令和4年度は、前年度まで新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた現地体験学習を3年ぶりに開催した。

〔セミナー概要〕

開催日：令和4年8月26日（金）～28日（日）

参加者数：3校9人

（静岡高校山岳部、静岡東高校登山部、
静岡聖光学院高校山岳部）



高山植物保護セミナー

【事業No.18】 中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 発生土置き場における植生回復方法の検討

ユネスコエコパークの理念に基づく、発生土置き場における植生回復の方法について専門家と検討を行った。

② 市民参画型環境保全事業（発生土置き場の緑化）の検討

中央新幹線建設事業の進捗状況に併せて、主要発生土置き場予定地の植生回復にかかる市民参画型の環境保全事業について検討を行った。

2) ライチョウの保護に向けた取組の推進

事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

【事業No.13】 ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① ライチョウの生息状況把握調査

環境省が策定したライチョウ保護増殖事業計画（以下、「増殖計画」）では、最新のライチョウの生息状況の全体像が十分に把握されていないことが課題として挙げられており、各山岳地域のライチョウの生息状況について、最も基本的な情報として推定なわばり数を把握することとしている。そこで、本市域内のライチョウ生息地において、その世界生息地の南限である南アルプス南部上河内岳からイザルガ岳周辺のライチョウ生息状況調査を行った。

調査結果の概要については、P38「5（2）モニタリングの概要」を参照

② 普及啓発事業

ア) 南アルプスライチョウサポーター制度の運営

ライチョウサポーターからの発見情報は5件報告された。また、希望者へのメール配信を11回実施した。

イ) フォローアップ研修の実施

認定したライチョウサポーターを対象に、引き続き南アルプスやライチョウに関心を持ち続けてもらうため、長野県ライチョウサポーターズと合同でフォローアップ研修として「ライチョウ勉強会」を開催した。

【オンライン会場】

開催日：令和5年2月26日（日）

参加者数：35人

ウ) 南アルプス関連イベントでの情報発信

ライチョウの普及啓発を図るため、南アルプス関連イベントにてパネル展示等による情報発信を計10回実施した。

3) 自然環境の保全と生態系バランスを考慮した保全手法の検討・実施

事業No. 9	南アルプス環境調査事業	
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 33

【事業No. 9】南アルプス環境調査事業

① モニタリング調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴う環境変化を把握するため、南アルプスユネスコエコパーク登録地域において現在の自然環境の状況等を調査し、その結果を公表した。

調査結果の概要については、P 38「5（2）モニタリングの概要」を参照

【調査項目】

動植物（植物、哺乳類、両生類、淡水魚類）

【調査結果公表HP】

https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000081_00011.html（調整中）

② 発生土置き場予定地植生調査

南アルプス地域内における中央新幹線建設事業の実施に伴い、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内において事業者が示す発生土置き場予定地について現状確認を行った。

4) 自然景観への配慮

事業No. 9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No. 4	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 33
組織No. 5	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 33
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

5) 新たな開発等への対応

事業No. 9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	P 3
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	
組織No. 2	静岡県中央新幹線工事調整連絡会	P 33
組織No. 3	静岡市中央新幹線整備対策本部	P 33
組織No. 4	静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	P 33
組織No. 5	静岡県中央新幹線環境保全連絡会議	P 33

【事業No.20】 南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業

① 林道管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づき、南アルプスユネスコエコパーク登録地域内の林道18路線を適正に管理する目的で、林道の路面や法面の状況及びガードレール、カーブミラー、橋梁等の施設の状態を点検するためのパトロール業務を実施した。また、林道東俣線については、路肩欠損箇所等の修繕工事を実施した。

② 林道の通行者管理

静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例に基づく通行許可が必要な林道東俣線の通行車両を適正に管理するため、全ての車両について、起点ゲートにおける通行車両の管理（許可の有無の確認、緊急車両の出入管理、夜間の施錠等）及び冬期閉鎖期間中のゲートの施錠点検等を実施した。

また、夜間や冬期閉鎖期間のゲート管理を徹底するため、林道起点ゲートに監視カメラを設置し、悪質車両の監視を行うとともに、ゲート入退場時にゲート管理棟に設置したポストに通行カードを投函するよう求めている。

2 調査と教育（学術的研究支援の機能）

（１）自然や文化を学び、心を育てる環境整備

１）南アルプス教育の推進

事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.16	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.37	自然体験活動指導者育成講座事業	
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	
事業No.42	社会科副読本との連携事業	

【事業No.16】南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 教育教材の活用

- ・市内全小学3年生を対象に、環境学習ハンドブック「しずおかの宝 南アルプスユネスコエコパーク」を配布した。
- ・小中学校において南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオを活用した学習を取り入れてもらうため、「南アルプスユネスコエコパーク教育ビデオの手引書」を校長会にて紹介するとともに、市ホームページにて公開した。

② 南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施

- ・ライチョウ親子模型、ライチョウパネル及び南アルプス・井川地域ジオラマなどを活用した出前授業を実施した。

〔静岡市立東源台小学校（3年生102人）〕

開催日：令和4年5月23日（月）

〔静岡市立清水中央小学校（1～6年生15人）〕

開催日：令和4年6月13日（月）

〔静岡市立中田小学校（5年生107人）〕

開催日：令和4年6月14日（火）

〔静岡市立中藁科・水見色・清沢小学校（4、5年生34人）〕

開催日：令和4年6月24日（金）

〔静岡市立東豊田小学校（3年生145人）〕

開催日：令和4年7月26日（火）

〔静岡市立高松中学校（2年生25人）〕

開催日：令和4年9月7日（水）



出前授業

【事業No.37】 自然体験活動指導者育成講座事業

井川地域の自然、歴史、伝統文化等にふれる活動を通して、南アルプスユネスコエコパークの理念を理解し、その価値や素晴らしさを伝えられる指導者や、井川自然の家及び地域で自然体験活動を推進できる人材を育成するため、井川自然の家にて各種講座を開催し、修了者を自然体験活動指導者として認定した。

また、希望者は、静岡市環境学習指導員や静岡県初級青少年指導者の資格もあわせて取得した。

① 必修講座（全2回）

6月11日（土）～12日（日）、10月15日（土）～16日（日）

〔主な講座内容〕

- ・南アルプスユネスコエコパーク学習会
- ・自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）
- ・大日古道ハイキング
- ・井川本村ガイドハイク研修
- ・井川湖渡船乗船体験

② 選択講座（井川自然の家の主催事業に1回参加）

6月25日（土）～26日（日）、9月3日（土）～4日（日）、
9月10日（土）～11日（日）

〔主な講座内容〕

- ・井川在来作物での炊飯活動
- ・所内ガイドハイク
- ・テント設営・撤収
- ・自然物を使ったクラフト

③ 認定指導者数 4人（令和4年度末時点累計 49名）

【事業No.38】 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業

自然や文化の源である南アルプス・井川地域をより身近に感じ、素晴らしさを発見できるよう、小中学生や家族を対象とした各種イベントや、送迎バス付利用促進事業を開催し、441名の参加があった。また、全ての事業において参加者の事後アンケートによる満足度が96～100%になった。

昨年度の課題を踏まえ、専門家から知識や技術、自然の楽しみ方などを参加者に伝えた。

① 小中学生対象

〔トム・ソーヤ ビギナーキャンプ〕

開催日：令和4年5月14日（土）～15日（日）

〔トム・ソーヤ チャレンジキャンプ〕

開 催 日：令和4年8月17日（水）～20日（土）

〔トム・ソーヤ オータムキャンプ〕

開 催 日：令和4年10月1日（土）～2日（日）

〔トム・ソーヤ スキーキャンプ〕

開 催 日：令和5年1月28日（土）～29日（日）

② 家族・グループ対象

〔井川de山菜グルメ〕

開 催 日：令和4年4月23日（土）～24日（日）

〔井川deアウトドアクッキング入門〕

開 催 日：令和4年6月25日（土）～26日（日）

〔井川deトレラン入門〕

開 催 日：令和4年7月23日（土）～24日（日）

〔井川deファミリーオータムキャンプ〕

開 催 日：令和4年9月3日（土）～4日（日）

〔井川de秋体験〕

開 催 日：令和4年9月10日（土）～11日（日）

〔井川de秋満喫の旅〕

開 催 日：令和4年11月12日（土）～13日（日）

〔井川deクリスマスリース作り〕

開 催 日：令和4年11月26日（土）～27日（日）



井川 de アウトドアクッキング入門



井川 de クリスマスリース作り

③ 送迎バス付利用促進事業

〔井川deスキー＆雪遊びⅠ〕

開 催 日：令和5年2月4日（土）～5日（日）

〔井川deスキー＆雪遊びⅡ〕

開 催 日：令和5年2月18日（土）～19日（日）

④ 育成事業

〔自然体験活動指導者育成講座Ⅰ〕

開 催 日：令和4年6月11日（土）～12日（日）

〔キャンプリーダー育成講座〕

開 催 日：令和4年7月16日（土）～17日（日）

〔自然体験活動指導者育成講座Ⅱ〕

開 催 日：令和4年10月15日（土）～16日（日）

【事業No.39】 学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業

市内小中学校の児童生徒を対象に、南アルプスの素晴らしさに気づきその恵みに感謝する豊かな心が育つよう、学校教育と連携した体験プログラム等を実施した。市内小学校8校の利用があり、その全ての学校において、引率責任者の利用目的の達成度が100%になった。

昨年度の改善策を踏まえ、活動プログラムの見直しを行い、より自然や文化を学べるコースやワークシートを開発し、学校に紹介・提供した。

① 南アルプスユネスコエコパークの理念の普及

全利用学校に対し、職員が利用学校の受け入れ時に南アルプスや井川地域の自然について紹介した。また、南アルプスの地形や動植物に関するエコパーク学習会を実施した。（1校実施）

② 自然にやさしいエコクッキング（野外炊飯）

木（薪）・水・食材の節約を観点に、環境保護の大切さを伝えた。（3校実施）

③ 大日古道ハイキング・井川湖渡船乗船体験

古来、井川地域の交通路として機能した大日古道と、現在、井川の地域資源として来訪者から需要のある井川湖渡船を利用した。（1校実施）

④ アマゴの串焼き体験

井川で育ったアマゴをさばき、食べることを通して、命をいただくことの大切さを伝えた。（2校実施）

⑤ 杉板焼き体験

自然の家周辺に生育するスギなどの木材の良さ、木目の美しさや違いなど自然素材のおもしろさを伝えた。（3校実施）

⑥ 星空観察・ナイトハイク

街の灯りが少なく空気が澄んだ井川地域では、多くの星が観察できることを伝えた。（5校実施）

【事業No.42】 社会科副読本との連携事業

社会科副読本改訂委員会を開催（年5回）し、内容検討、執筆を行った。また、市立小・中学生が学習端末（chrombook）で社会科副読本を閲覧できるよう整備した。

2) 体験教育（修学旅行等）や合宿、企業研修の誘致、受入体制の確立

事業No.5	静岡体験型観光推進事業	
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P11
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	

【事業No.5】静岡体験型観光推進事業

① 教育旅行誘致活動

山梨県、長野県、愛知県、神奈川県、東京都の各市町教育委員会や学校、旅行会社を訪問し、教育旅行の適地としての周知を図るとともに、新型コロナウイルスの影響による教育旅行の実施状況（実施時期や行先等）やニーズの聞き取り等を行った。また、誘致活動での情報を参考に神奈川県、東京都の教職員を招いてのモニターツアーでの教育旅行の誘致及び動向・情報収集を行った。

② 体験プログラムの開発

静岡市街地から井川地域までを含めた新しい静岡型体験旅行プログラムの情報収集及び開発を実施した。また、体験プログラムの冊子の更新及びホームページの全面改訂を行い、県境をまたぐ現地視察に慎重な学校や旅行会社に対しての情報発信を実施した。

【事業No.40】南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業

① チラシ、ポスター等の配布・掲示

井川地区の各所に、井川自然の家の広報紙「からまつ」やパンフレット等を配布した。また、市内大学に井川自然の家キャンプリーダー募集のチラシを配布し、掲示を依頼した。

② リピーター層に向けたメール配信

主催事業の参加者に対し、メール配信システムへの登録を促すとともに、参加後もメールを通してほかの主催事業の開催案内を配信した。

システム登録件数：2,085件（R3：1,883件）

③ ホームページによる情報発信

主催事業の募集案内や予約状況、井川自然の家の広報紙「からまつ」の紹介を中心に、毎月5回以上の更新・情報の発信を行った。また、閲覧者が目的のページを探しやすいようホームページの構成や項目の見直しを行った。



広報紙「からまつ」

④ フェイスブックページによる情報発信

主催事業の案内、井川自然の家広報紙「からまつ」の紹介のほか、特に、井川自然の家周辺で見られる動植物の様子など、即時性のある内容について、毎月10回以上の更新・情報の発信を行った。

フォロワー：1,021人（R3：915人）

⑤ 校務支援システムの活用

学校教育で活用可能な井川地域の自然物の写真リスト等を掲載し、閲覧できるようにした。また、校務支援システムの活用を促すため、市内小中学校に向けた周知を行った。

⑥ SNSを活用した周知

静岡市公式LINEやX(旧Twitter)、関係課運用のSNS等を活用し、主催事業の募集案内について告知を行った。

3) 教育拠点の整備・充実と効果的な活用

事業No.11	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家整備事業	事業完了

【事業No.11】 静岡市次世代エネルギーパーク推進事業

① 普及啓発

静岡市地球温暖化対策情報サイト『つながうしずおか』をはじめ、各種広報媒体を活用して静岡市次世代エネルギーパークを広報し、次世代エネルギーに関する普及啓発を行った。



「つながうしずおか」

② 活用推進

各種イベントでパンフレットを配布し、活用促進を図った。

〔南アルプスユネスコエコパークの次世代エネルギーパーク関連施設〕

- ・ 静岡市南アルプス赤石温泉「白樺荘」（バイオマス熱利用）
- ・ 中部電力井川展示館（水力発電）
- ・ 井川発電所／井川ダム（水力発電）
- ・ 畑薙第一発電所／畑薙第一ダム（水力発電）

【事業No.21】 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業

南アルプスや井川地域の観光・登山情報を発信するためのフロアを提供した。

(2) モニタリングの実施と情報の集約

1) モニタリングの実施

事業No. 9	南アルプス環境調査事業	P 6
事業No.12	高山植物保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 4
事業No.13	ライチョウ保護事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

2) 産官学民の連携によるモニタリング体制の構築

組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34
組織No. 8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 35

3) 自然や文化に関わる情報の集約と活用

事業No.18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 5
組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

3 地域の持続的な発展（経済と社会の発展の機能）

（1）地域の魅力の磨き上げと地域振興

1）地域資源のブランド化と販路開拓の支援

事業No. 4	葵区魅力づくり事業
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業
事業No.26	オクシズ元気ビジネス支援事業

【事業No. 4】 葵区魅力づくり事業

① 地域活動参加促進事業「葵トラベラー」の実施

自治会連合会が主体的に実施する地域の取組への集客支援を実施することで、地域住民による地域プロモーションを実施し、更なる地域住民の参画及び定着化を目指した。

〔葵トラベラー井川編「渡船乗船in井川」〕

開催日：令和4年7月23日（日）

参加者数：18人 地域参画団体：2団体

② 地域活動参加促進事業「葵チャレンジャー」の実施

地域課題の解決に向けた取組を実施し、地域が自主的かつ主体的に地域プロモーションを実施していくための環境づくりを推進した。

〔しずおかキッズアカデミー@オクシズ〕

開催日：令和4年5月22日（日）、8月5日（金）

参加者数：各日20人 地域参画団体：2団体

〔日本全国ふるさとマルシェにおけるてしゃまんく最中PR事業〕

開催日：令和4年9月25日（日）

地域参画団体：2団体

【事業No.25】 地域おこし協力隊配置事業

① 地域おこし協力隊の新規隊員の募集及び配置

地域おこし協力隊を、井川地域、梅ヶ島地域、大河内地域に各1名配置した。

② 補助金の交付

ア) 地域おこし協力隊員用住宅改修事業補助金

地域おこし協力隊が居住するための住宅を改修する者に補助金を交付した。

イ) 地域おこし協力隊活動支援事業補助金

地域おこし協力隊の活動を支援する団体に補助金を交付した。

ウ) 静岡市オクシズ地域おこし協力隊員起業準備事業補助金

任期終了後の地域おこし協力隊の起業に係る費用について補助金を交付した。

【事業No.26】オクシズ元気ビジネス支援事業

中山間地域の活性化及び集落の維持を図るため、地域住民等が地域の産業・自然・文化などの資源を活用して実施する、新たなビジネスを「オクシズ元気ビジネス支援事業」として支援した。

2) 地域資源を活かした新たなプログラム・コースの開発

事業No.5	静岡体験型観光推進事業	P12
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P9
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P12

【事業No.15】南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

南アルプス・井川地域の自然、歴史、伝統文化など、当該地域に潜在している魅力を掘り起こし、ターゲットとしている若い世代（20代から30代）に向け、ホームページのアクセスログの分析結果に基づくニーズに対応した情報を発信した。

① ホームページによる情報発信（SNSの活用）

平成27年度に開設したホームページ“南アルプスde深呼吸「南プス」”にて、井川地域の施設情報や暮らしの魅力などを発信した。

URL: <https://nanpusu.jp/index.html>

閲覧数: 273,321PV（ページビュー）



ホームページ「南プス」

② 井川地域の魅力発信

井川地域の紅葉とつり橋を巡る日帰り旅の取材を行い「女子旅レポート」としてホームページに掲載した。

取材回数: 1回（モニターレポート1件公開）

URL: <https://nanpusu.jp/report/index.html>

③ 井川地域でできる自然体験等の情報発信

井川地域の魅力を体験できるイベントについて取材を行い「イベントレポート」としてホームページに掲載した。

取材回数: 3回（イベントレポート3件公開）

URL: <https://nanpusu.jp/event/index.html>

④ 井川地域の歴史・文化等の情報発信

井川地域に伝わる伝統的な焼畑農業や、地域の人々の暮らしに根付く湧水にまつわる研究について取材を行い「イベントレポート」としてホームページに掲載した。

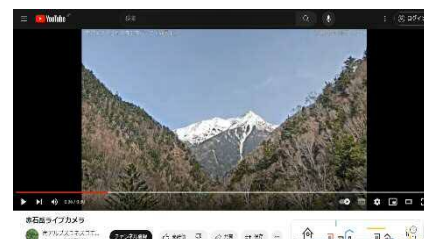
取材回数：2回（イベントレポート2件公開）

U R L : <https://nanpusu.jp/event/index.html>

⑤ 南アルプスタイムラプス映像の編集・発信

南アルプスライブカメラの映像からタイムラプス動画を7種作成し、「タイムラプス動画」としてホームページに掲載した。

U R L : <https://nanpusu.jp/movie/livecam.html>



タイムラプス動画

⑥ Instagramによる情報発信

若い世代への情報発信力を強化するとともに、ホームページと連動して南アルプスや井川地域の最新情報について、公式Instagramにて発信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/index.html>

フォロワー数：1,083人



公式 Instagram

⑦ 南アルプスライブ映像の配信

牛首峠から見える赤石岳及び富士見峠から見える南アルプスのライブ映像を配信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/movie/livecam.html>

⑧ 南アルプスユネスコエコパークのイメージソングによる普及啓発

静岡県内出身の歌手「yosu」作詞・作曲のイメージソングをホームページにて配信した。

U R L : <https://nanpusu.jp/yosu/index.html>

【事業No.22】南アルプス周辺登山道整備事業

① 既存登山道の整備

- ・赤石岳登山道の改修に係る調査を実施した。
- ・百間洞山の家及び高山裏避難小屋改修に係る調査を実施した。
- ・聖平登山道の崩落箇所及び倒木処理等の危険箇所を修繕した。
- ・表示劣化した茶臼岳登山口の登山案内看板を更新した。

3) 積極的な情報発信

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 16
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 15
組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 33
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 36

【事業No. 1】移住希望者向け情報発信事業

① 移住支援センターを中心とした移住・定住相談事業

市が東京に設置した移住支援センターに常駐する相談員による移住相談業務のほか、毎回異なるテーマで移住セミナーや相談会等を開催し、移住希望者へ希望に沿った情報を提供した。

相談件数：1,423件（R3：1,123件）

相談人数：1,626人（R3：1,226人）



移住支援センター

② ホームページ等による情報発信

静岡市の移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」やSNSのほか、移住関連雑誌やテレビ・新聞等により移住情報や本市の魅力を発信した。

URL：<https://shizuoka-seikatsu.jp>



移住・定住情報サイト「いいねえ。静岡生活」

【事業No.14】普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 南アルプスユネスコエコパーク構成市町村との連携による情報発信

ア) 川根本町と連携した普及啓発活動

- ・トーマスフェアでの啓発

実施日：令和4年8月12日（金）

会場：大井川鐵道 千頭駅

- ・東京ガールズコレクションでのブース出展

実施日：令和5年1月14日（土）

会場：ツインメッセ静岡

② 市内・県内における情報発信

ア) 広報しずおか「静岡気分」への情報掲載

掲 載 号：6月号

内 容：南アルプスが育む生きもののつながり等

イ) 市内公共施設と連携した南アルプスユネスコエコパークの魅力発信展示

実施期間：令和4年4月19日（火）～27日（水）

会 場：静岡市賤機都市山村交流センター「安倍ごころ」

実施期間：令和4年6月2日（木）～14日（火）

会 場：JR静岡駅北口地下「しずチカ」

実施期間：令和4年10月3日（月）～17日（月）

会 場：駿河生涯学習センター（来・て・こ）

ウ) 市民団体と連携した南アルプスユネスコエコパークの魅力発信展示

実施期間：令和4年9月2日（金）～4日（日）

会 場：グランシップ

エ) 市民団体との協働による写真等展示

催 事 名：静岡アート&ネイチャーフェスティバル

実施期間：令和4年11月1日（火）～6日（日）

会 場：静岡市民ギャラリー

オ) 環境フェスタへのブース出展

実施期間：令和4年7月30日（土）

会 場：清水テルサ

カ) 公共施設との連携によるエコパークの魅力発信放映

実 施 日：令和4年6月30日（木）～10月30日（日）

会 場：日本平動物園

キ) 各種団体との連携によるエコパークの魅力発信放映

連 携 先：清水エスパルス

実 施 日：令和4年6月18日（土）

会 場：IAIスタジアム日本平

ク) ヤマケイオンラインとの連携によるエコパークの魅力を連載

掲載回数：全7回

ケ) 南アルプスユネスコエコパークロゴマークの活用

・職員名刺への活用

・PRポロシャツの作成及び着用

③ 首都圏等での情報発信

ア) 第8回夏山フェスタへのブース出展

実 施 日：令和4年6月11日（土）～12日（日）

会 場：ウインクあいち（愛知県名古屋市）



夏山フェスタの様子

【事業No.17】 南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）

① 登録8周年記念事業の実施

ア) 南アルプスユネスコエコパーク啓発活動

市民をはじめ静岡市に来訪する方に向けて、南アルプスユネスコエコパークに登録された南アルプスや葵区井川地域の魅力を情報発信するとともに、南アルプスユネスコエコパーク登録8周年とエコパークの理念を啓発するために、啓発品やパンフレット等の配付や説明等、PR活動を川根本町職員と協働で実施した。

日 時：令和4年6月9日（木）11:30～13:30

場 所：JR静岡駅北口地下広場イベントスペース内



しずチカでのPR活動

② 登録10周年記念事業に向けた準備

ア) 種子の播種、育成管理

南アルプス森づくりツアー等で採取したミズナラ等の種子（ドングリ）を播種し、エコパーク登録地域や協力機関において育成管理した。

播 種 数：約900

育 成 数：約230

育成場所：榎島ロッヂ、静岡市立井川小中学校、井川自然の家、井川地域（民地）、静岡大学、静岡城北高校、川根本町総合支所



播種したミズナラ

4) 地域資源の持続可能な利用

事業No. 8	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業
事業No.10	静岡市森林環境アドプト事業
事業No.24	野生鳥獣被害対策事業
事業No.27	林業担い手育成対策事業

【事業No. 8】 中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業

再生可能エネルギーの導入に向け、よりポテンシャルが有望な箇所を検討するとともに、採算性等の課題から事業スキームの再構築の検討を行った。

【事業No.10】 静岡市森林環境アドプト事業

① 森林整備計画の検討・整備実施

森林地域の恩恵を受ける都市地域の企業・団体等の寄附により、二酸化炭素の吸収に必要な森林の整備を行った。

〔実績〕

平成23～26年度	葵区俵峰地区	32.10ha
平成27～29年度	清水区河内地区	42.24ha
平成30～令和2年度	葵区井川地区	34.11ha
令和3年度	葵区清沢地区	11.05ha
令和4年度	葵区清沢地区	11.96ha

② 間伐材の活用

ア) 積み木の作成・寄贈

間伐材を活用した積み木を32セット作成し、市内こども園等に寄贈した。

イ) 積み木贈呈式（動画の放映）の開催

静岡市森林環境アドプト実行委員会から積み木を贈呈した。

開催日：令和4年12月22日（木）

会場：静岡市役所 本館3階第三委員会室



積み木で遊ぶ子どもたち

③ 森林環境アドプト企業認定証授与式の開催

寄附企業32社中15社が出席し、静岡市森林環境アドプト実行委員会から「静岡市森林環境アドプト企業認定書」を授与、静岡市長から感謝状を贈呈した。

開催日：令和4年12月22日（木）

会場：静岡市役所 本館3階第三委員会室

④ 新規寄付企業の開拓

令和4年度は、新たに4社が森林環境アドプト企業へ加入した。

⑤ 普及啓発

整備地区の道路脇に、静岡市森林環境アドプト事業及び寄附企業を紹介する看板を設置した。また、広報誌にて寄附募集の呼びかけを行った。



寄附企業紹介看板

【事業No.24】 野生鳥獣被害対策事業

野生鳥獣による農作物等の被害を防除するため、農林業者等への助成、有害鳥獣の捕獲事業等を行った。

① 農林業者等への助成（防除事業）

個 別 型：	59件	4,001千円	6.0ha	
団 体 型：	26件	4,475千円	10.0ha	
地域一体型：	5件	28,500千円	14.1ha	
合 計：	90件	36,976千円	30.1ha	※全市実績

② 有害鳥獣捕獲事業

	捕獲実績数	報奨金額	
ニホンザル：	289頭	8,670千円	
ニホンジカ：	734頭	14,680千円	
イノシシ：	624頭	9,360千円	
カラス：	185羽	93千円	
アライグマ：	135頭	675千円	
ハクビシン：	400頭	2,000千円	
アナグマ：	95頭	475千円	
合 計：	2,462頭	35,953千円	※全市実績

【事業No.27】 林業担い手育成対策事業

林業労働災害の発生防止等を支援するため、各種補助金を交付した。

① 林業労働安全衛生対策事業補助金

労働災害防止等の就労環境改善に必要な経費を助成した。

② 林業労務者振動病対策事業補助金

振動機械の使用による障害の予防対策の一環として、林業、製材業関係者が実施する特殊健康診断に対する経費を助成した。

（２）将来を担う人材育成と受入体制・環境づくり

１）地域資源をつなげる人材の育成

事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
---------	----------------------------------	------

２）地域の担い手育成

事業No. 1	移住希望者向け情報発信事業	P 18
事業No. 7	無形民俗文化財の公開事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.23	中山間地域移住促進事業	
事業No.25	地域おこし協力隊配置事業	P 15
組織No. 8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 35

【事業No.7】無形民俗文化財の公開事業

後継者不足に悩む伝統芸能の保存団体に対する伝承活動の支援や、その伝統文化に市民が身近に触れることができる場を設け、認知度や魅力度の向上を図った。

催事名：大神楽祭2023

日時：令和5年2月18日（土）

場所：静岡浅間神社 舞殿

出演団体：井川神楽保存会、梅ヶ島新田神楽保存会、
清澤神楽保存会、横浜神楽保存会

来場者数：延べ2,000人



大神楽祭2023（井川神楽）

【事業No.23】中山間地域移住促進事業

① 空き家情報の発信

ホームページ「中山間地域空き家情報バンク」により情報を発信した。

URL：<https://www.okushizuoka.jp/live/article/post.html>

【利用実績】 17件

井川地区	2件
梅ヶ島地区	3件
玉川地区	2件
大川地区	2件
清沢地区	1件
両河内地区	2件
松野地区	2件
水見色地区	1件
小河内地区	1件
小布杉地区	1件



中山間地域空き家情報バンク

② 移住者支援

ア) 中山間地域移住者用住宅改修事業補助金

空き家情報バンクに掲載されている賃貸・売買住宅の改修にかかる経費に対し、補助金を交付した。

【交付実績】 10件

梅ヶ島地区	2件	1,000千円、999千円
玉川地区	3件	1,000千円、1,000千円、1,000千円
両河内地区	1件	1,000千円
清沢地区	1件	1,000千円
松野地区	1件	1,000千円
水見色地区	1件	1,000千円
小布杉地区	1件	1,000千円

イ) 中山間地域移住報奨金

移住後6月以上の居住実績があり、交付後5年間の生活の様子を情報発信し、市の実施する移住促進事業に協力する者に対し、報奨金を交付した。

〔交付実績〕 3件

梅ヶ島地区	1件	40千円
玉川地区	1件	80千円
清沢地区	1件	40千円

③ 受入地域支援

ア) 移住促進事業補助金

地域が実施する移住促進活動にかかる経費に対し、補助金を交付した。

〔交付実績〕 1件

大川地区	1件	250千円
------	----	-------

3) 交流人口の増加

事業No.2	井川湖渡船運航事業	
事業No.5	静岡体験型観光推進事業	P12
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P18
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P20
事業No.21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	P13
事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	
事業No.40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	P12
事業No.41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家整備事業	事業完了
組織No.1	大井川流域振興連絡会	P33
組織No.6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P33
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P34
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P36

【事業No.2】井川湖渡船運航事業

① 渡船運航

〔実績〕

年間運航回数：1,113回（R3：1,108回）

年間乗客数：3,752人（R3：2,530人）

運航可能数：297日（R3：178日）

1日当たりの乗船人数：13人（R3：14人）



井川湖渡船（左：赤石丸、右：令和聖）

〔運休〕 定期航路 令和4年4月27日～7月23日（ダム湖水位低下による）

遊覧航路 令和4年11月28日～令和5年3月31日（ダム湖水位低下による）

※その他、台風15号による主要道の不通や大井川鐵道の運休に伴う観光需要の減。

② 渡船関係施設の更新・維持管理

ア) 渡船待合所の更新

令和4年4月29日から新待合所の供用開始、令和5年3月15日に旧待合所の解体工事を完了した。

イ) 渡船乗場の安全確保

湖水面の上昇、下降に伴う栈橋の移設及び宮向乗場の整備、乗場通路上の土砂、流木等の撤去を実施した。

③ イベントの開催

ア) 井川湖渡船待合所オープニングイベントの開催

情報発信や地域交流の場としての新たな機能を周知するための記念イベントを開催した。

開催日：令和4年4月29日（金・祝）、30日（土）、
5月3日（火・祝）～5日（木・祝）

乗船者数：271人

来場者数：延べ367人

イ) 井川湖上音楽まつりの開催

湖上で演奏を楽しむ「特別便」を運航し渡船待合所内でも演奏会を開催した。
また、地域団体と連携し、特産品等を販売した。

開催日：令和4年7月23日（土）、24日（日）、
30日（土）、31日（日）

乗船者数：117人

来場者数：延べ182人



渡船待合所での演奏

ウ) 井川湖渡船秋まつりの開催

井川の魅力を発見するフォトラリーと併せて、地域食材を使ったランチクルーズを開催した。

開催日：令和4年11月12日（土）、13日（日）、19日（土）、20日（日）

乗船者数：64人

来場者数：延べ386人

④ 大学連携による井川湖渡船シンボルマークの制作

静岡文化芸術大学（デザイン学科）との連携事業において学生が考案したシンボルマーク（3案）を井川湖渡船待合所オープニングイベント来場者による投票で決定（公表）した。

【事業No.29】 静岡市道路休憩施設利用促進事業

既存の観光・地域振興施設と連携を図り、道路利用者へ駐車場とトイレを提供することで、道路利用者の安全性及び利便性を向上させることを目的に道路休憩施設を設置している。令和3年度は、オクシズドライブマップを道路計画課、中山間地振興課、各静岡市道路休憩施設（有人）、各区役所1階総合案内等に配架し、広報活動を行った。

4) 観光地としてのレベルアップ

事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 26
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 36

5) 交通アクセスの向上

事業No. 2	井川湖渡船運航事業	P 24
事業No. 3	井川湖畔遊歩道管理事業	
事業No.20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	P 7
事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P 17
事業No.28	井川地区自主運行バス運行事業	
事業No.29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	P 26
事業No.30	道路改良事業	
事業No.31	道路トンネル補修事業	
事業No.32	道路自然災害防除事業（法面）	
事業No.33	橋りょうの耐震化及び健全化事業	
組織No.10	南アルプスあふとライン周辺地域誘客協議会	P 36

【事業No. 3】 井川湖畔遊歩道管理事業

① 広報・PR活動

ア) 案内看板の整備

遊歩道沿いに設置してある看板を、施設更新等に伴い更新した。

イ) 井川地区パンフレットの配布

渡船乗場の位置や出航時刻のほか散策に便利な情報を1枚にまとめたパンフレットを、井川地域の宿泊施設及び大井川鐵道等の関係先に配架するとともに、各種イベント等で配付した。

ウ) 雑誌、ウェブマガジン等での紹介

「まっふる静岡」他3誌に紹介記事を掲載し、市内外に情報発信した。

エ) イベント連携によるPR

井川フォトラリーやオクシズデジタルスタンプラリーのラリーポイントに井川湖畔遊歩道を設定することで誘客に取り組んだ。

② まち歩きガイドの活動

ふじのくに地域大学コンソーシアム地域貢献事業「井川地区におけるパッケージ開発」における静岡文化芸術大学のフィールドワークにおいてまち歩きガイドツアーを実施した。

実施日：令和4年5月24日（火）

③ 遊歩道の安全確保

井川湖畔遊歩道の快適な利用と景観の美化を維持するため、遊歩道の除草作業等の維持管理を行った。

- ・ 除草作業 作業面積 3,576㎡
令和4年7月28日
- ・ 遊歩道巡視 ゴミ拾い、折枝、倒木等撤去、ヤマビル
除け対策、パンフレットの補充、
看板補修（計26回実施）



井川湖畔遊歩道

【事業No.28】井川地区自主運行バス運行事業

住民の生活交通の確保及び観光客にも対応した自主運行バスを運行した。

[観光客対応]

7、8、10、11月の土曜、日曜、祝日の運行ダイヤを増便した。

運行ルート：静岡市葵区横沢～南アルプス赤石温泉白樺荘

利用者数：3,374人／年



井川地区自主運行バス

【事業No.30】道路改良事業

① 県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線の道路改良

県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設について、起点側（井川側）の準備工事に着手し、終点側（横沢側）の県道切り回し工事を実施した。また、トンネル前後区間の道路拡幅及び災害防除等については、9箇所です業を実施した。

② その他路線の道路改良

幅員が狭い区間や見通しが悪い区間を抽出し、道路改良事業を実施した。

【事業No.31】道路トンネル補修事業

地域住民、来訪者の安心・安全な通行を確保し、交通アクセスの向上を図るため、

トンネル点検による要対策箇所の確認を行った。

① トンネル点検の実施

田代第1号トンネル、田代第2号トンネル、田代第4号トンネル、
田代第5号トンネル、田代第7号トンネル

【事業No.32】道路自然災害防除事業（法面）

緊急輸送路上の道路防災点検によって、早期に法面对策が必要と評価された箇所や斜面に変状が生じた箇所について、対策を実施した。

対象工事：1件（井川）

対象道路：（市）閑蔵線

【事業No.33】橋りょうの耐震化及び健全化事業

地域住民や来訪者の安心・安全な道路通行を可能とするため、橋りょうの健全化を実施した。

① 橋りょうの健全化

定期点検の実施により、早期に措置を必要とした橋りょう2件（滝見橋、井川大橋）の確実な補修を実施した。

6）地域住民や来訪者の安全性・利便性・快適性の確保

事業No.22	南アルプス周辺登山道整備事業	P 17
事業No.34	千代田消防署井川出張所維持管理事業	
事業No.35	山岳救助体制整備事業	
事業No.36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業	
組織No. 9	静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部	P 35

【事業No.34】千代田消防署井川出張所維持管理事業

井川地域住民等の安全を確保し、非常事態に備えた体制を整備するため、井川地域の消防、救急を担う拠点施設となる千代田消防署井川出張所庁舎の維持管理を行った。

【事業No.35】山岳救助体制整備事業

地域住民や来訪者の安全を確保するため、千代田消防署しずはた出張所に山岳救助隊を設置し、山間地域において事故が発生した際には、消防航空隊と連携して捜索、救出、救護を実施した。

① 山岳救助体制の充実

年間を通して山岳救助事案発生の可能性を踏まえ年間計画を策定し、シーズンごとの訓練を実施した。また、消防航空隊との連携訓練も実施し、山岳救助事案

に迅速に対応できる体制を整えた。

- ・春山訓練 2回
- ・夏山訓練 4回
- ・冬山訓練 4回
- ・消防ヘリコプターとの連携訓練 16回
- ・消防ヘリコプターとの連携事案 2回

② 山岳救助支援員の指名

山岳救助事案の発生件数が増加傾向にあることから、山岳救助体制の強化を図ることを目的とし、山岳救助隊経験者6名を「山岳救助支援員」に指名し、山岳救助事案が同時に複数発生した場合等に出動させる制度を構築した。

また、災害事案に備え、山岳救助隊とともに訓練を実施した。

山岳救助支援員：令和元年6月10日発足



山岳救助訓練の様子

【事業No.36】ヘリコプター南アルプス活動拠点※指定事業

登山者等の非常事態へ迅速に救助・救急対応をするため、登山道にヘリコプターのレスキューポイント及び着陸場を指定するための調査等を実施した。

① 登山調査・上空調査

- ・平成27年度から引き続き、南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道に、ヘリコプターから救助隊員をホイスト等で投入できる場所を指定するため、ヘリコプターによる上空からの調査・写真撮影を実施した。
- ・令和2年度に整備したレスキューポイント（赤石岳登山道 大倉尾根3/5）において、静岡県消防局ヘリコプターにて実際に隊員をホイスト投入し安全検証作業を行った。
- ・赤石岳登山道上の大倉尾根4/5（レスキューポイント予定場所）の伐採樹木のマーキングを行った。

② 資料作成・配布

南アルプス活動拠点資料を更新し、関係機関に配布した。

※活動拠点：ヘリコプターがホバリングし、救助隊員を投入、又は要救助者を揚収可能な場所。（樹林帯の隙間は直径約10m程度が必要。）

4 理念の継承と管理運営体制の構築（3つの機能を支える連携機能）

（1）国内外への積極的な情報発信とオール静岡による意識醸成

1）国内外への積極的な情報発信

事業No.6	海外プロモーション事業	
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 20
組織No.7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34

【事業No.6】海外プロモーション事業

① ブログを活用した情報発信

韓国国内のPR業者を通して、日本在住の韓国人記者に市内のコンテンツの取材及びブログ記事作成を委託し、お茶、久能山東照宮、駿府の工房 匠宿などを紹介した。

② 日台教育旅行関係者意見交換会

国際交流課と連携し、台湾の訪日旅行関係者との意見交換を行った。

2）国際対応

事業No.5	静岡体験型観光推進事業	P 12
事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18

3）オール静岡による意識醸成

事業No.14	普及啓発事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 18
事業No.15	南アルプス情報発信事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 16
事業No.16	南アルプス教育推進支援事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 8
事業No.17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業（南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業）	P 20
事業No.37	自然体験活動指導者育成講座事業	P 9
事業No.38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	P 9
事業No.39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動の提供事業	P 11
事業No.42	社会科副読本との連携事業	P 11
組織No.8	オクシズ在来作物連絡協議会	P 35

(2) 産官学民協働による管理運営体制の構築

1) 南アルプスユネスコエコパーク全体の管理運営体制の構築

組織No. 7	南アルプス自然環境保全活用連携協議会	P 34
---------	--------------------	------

2) 静岡県、川根本町等との連携体制の構築

組織No. 6	南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会	P 33
---------	-------------------------	------

4 関連組織の活動状況

実行計画に掲載されている関連組織の活動状況は次のとおりとなります。

【組織No.1】大井川流域振興連絡会

令和2年度をもって解散

【組織No.2】静岡県中央新幹線工事調整連絡会

令和4年度の開催実績なし

【組織No.3】静岡市中央新幹線整備対策本部

令和4年度の開催実績なし

【組織No.4】静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
第10回静岡市中央新幹線建設事業影響評価協議会	日時：令和4年10月17日 場所：葵生涯学習センター（アイセル21）	・国土交通省有識者会議の状況 ・林道東俣線改良工事

【組織No.5】静岡県中央新幹線環境保全連絡会議

行事・会議名	開催日時・場所	内容
静岡県中央新幹線環境保全連絡会議 生物多様性部会専門部会	第10回：令和5年1月12日 静岡県庁 本館4階 議会特別会議室	・リニア中央新幹線静岡工区有識者会議（環境保全有識者会議）における検討状況 ・論点整理（案）に係る環境保全有識者会議での意見及びその論点整理項目に関連した生物多様性部会専門部会でのこれまでの意見

【組織No.6】南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会事前決議	令和4年6月15日（議決日）	いかわね新聞事業計画について
総会	令和4年6月30日 静岡市役所葵庁舎	・令和3年度事業報告及び決算報告 ・令和4年度事業計画及び予算
連絡会議	令和4年6月30日 静岡市役所葵庁舎	・井川及び川根本町の地域おこし協力隊の活動について

		・ 情報交換
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」編集 部会	・ 第 1 回：令和 4 年 4 月 26 日 13:30～静岡市役所井川支所 ・ 第 2 回：令和 4 年 5 月 18 日 13:30～川根本町総合支所 ・ 第 3 回：令和 4 年 10 月 25 日 13:30～静岡市役所井川支所 ・ 第 4 回：令和 4 年 11 月 10 日 13:30～オンライン ・ 第 5 回：令和 4 年 1 月 30 日 13:30～オンライン	・ 掲載記事内容について ・ 次年度の計画について
井川と川根をつなぐ 「いかわね新聞」発行	・ 第 18 号（8 月 1 日発行） ・ 第 19 号（1 月 1 日発行）	
観光キャラバン	令和 4 年 9 月 23 日（金祝） 10:00～ 道の駅富士川	パンフレット配布 アンケート調査 缶バッジ作り

【組織No. 7】 南アルプス自然環境保全活用連携協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
総会	令和 4 年 6 月 7 日 静岡市：グランシップ	令和 3 年度事業報告、令和 4 年度 事業計画等
幹事会	第 1 回：令和 4 年 4 月 21 日 フォーレなかかわね茶銘館（静岡 県川根本町） 第 2 回：令和 5 年 2 月 22 日 高遠町総合福祉センターやますそ （長野県伊那市）	本会事業活動を効率的に推進する ため、南アルプス地域を取り巻く 課題 を整理し検討を行った。
地域連絡会議	第 1 回：令和 4 年 6 月 23 日 韮崎市役所（山梨県韮崎市） 第 2 回：令和 4 年 8 月 25 日 飯田市美術博物館（長野県飯田 市） 第 3 回：令和 4 年 10 月 27 日 静岡市役所清水庁舎（静岡市清水 区） 第 4 回：令和 4 年 12 月 22 日 南アルプス市甲西窓口サービスセ ンター（山梨県南アルプス市）	協議会事業に関する協議、構成市 町村及び関係機関の情報共有、課 題の整理、職員研修等を行った。

各課題に対応したワーキンググループ（WG）	（１）情報発信WG（担当：山梨県韮崎市） （２）看板表示WG（担当：山梨県北杜市） （３）ユネスコエコパーク定期報告WG（担当：長野県飯田市） （４）管理運営計画WG（担当：山梨県南アルプス市） （５）ニホンジカ対策WG（担当：環境省関東地方環境事務所） （６）ライチョウ保護WG（担当：静岡県静岡市） （７）登山道誘導標識WG（担当：長野県伊那市） （８）林道WG（担当：長野県伊那市）	南アルプスの抱える多様な課題に対応すべく、構成市町村に参与を加えたメンバーで８つのWGを設置し、リーダー市町村を中心に各関係者が課題への対応、情報共有を行った。
南アルプスライチョウサポーター制度の運用（フォローアップ研修）	令和５年２月２６日（日） オンラインによる開催	南アルプスライチョウサポーター、長野県ライチョウサポーターズを対象にフォローアップ研修を実施。
南アルプスユネスコエコパーク科学委員会	令和４年５月１９日（木） allla（伊那市） 令和５年３月１４日（火） アイセル２１（静岡市）	

【組織No. 8】 オクシズ在来作物連絡協議会

令和４年度の開催実績なし

【組織No. 9】 静岡県山岳遭難防止対策協議会 静岡市支部

行事・会議名	開催日時・場所	内容
令和４年度静岡県山岳遭難防止対策協議会静岡市支部総会	令和４年６月２７日 静岡市林業センター 会議室	・令和３年度事業報告及び収支決算について ・令和４年度事業計画及び収支予算について ・事務局からの連絡事項
登山道・山小屋現地確認及び調査	①令和４年６月３日～５日 茶臼岳登山道 ②令和４年８月３日～６日	・伐木撤去 ・既存工作物の健全性確認 ・ルート点検

	百間洞山の家・赤石岳登山道 ③令和4年8月21日～23日 高山裏避難小屋	・山小屋及びトイレ改修内容確認
--	--	-----------------

【組織No.10】 南アルプスあぶとライン周辺地域誘客協議会

行事・会議名	開催日時・場所	内容
協議会総会	令和4年4月22日（金） 川根本町総合支所	令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画等について
星空列車プロジェクトミーティング	令和4年4月15日（金）・6月22日（水）・9月8日（木）・10月7日（金） 川根本町総合支所 他	プロジェクト事業について 他
担当者会議	令和4年8月1日（水）・12月16日（金）・3月16日（木） 川根本町総合支所 他	事業の実施について 他
観光キャラバン	令和4年9月23日（金） 道の駅富士川	観光キャラバン（南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会と共同実施）
星空列車プロジェクト	令和4年11月5日（土）～令和5年2月26日（日）	あぶとラインで行う星空列車事業に対する支援
インフルエンサー動画告知	—	観光資源を紹介するショート動画の政策・発信
あぶとライン乗車サービス券発行	令和4年11月1日（火）～11月30日（水）	あぶとライン乗車サービス券の発行・配布
長島ダム（長島公園）植栽イベント	令和5年3月4日（土）	長島公園でフジバカマの植栽を実施
モバイルスタンプラリー事業	令和5年2月23日（木）～3月21日（火）	あぶとラインを巡るスタンプラリーを実施

5 モニタリング実施状況

令和4年度のモニタリングの実施状況を集約しました。

(1) モニタリング実施項目

モニタリング項目		
区分	項目	
生活環境	水質の状況	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、カドミウム、鉛 ほか（環境保健研究所）
自然環境	動植物の状況	植物（モニタリング）、哺乳類、両生類、淡水魚類、底生動物（環境創造課〈現 環境共生課〉）
	希少種の生息・生育状況	ライチョウの生息状況把握調査（環境創造課〈現 環境共生課〉）
調査・教育	環境教育・学習	・「南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家」利用者数（井川自然の家） ・静岡県「県民の森」利用者数（静岡県くらし・環境部環境局/環境ふれあい課）
	伝統文化等の保存状況	・伝統文化等の保存状況[県指定文化財、市指定文化財]（文化財課）
社会状況	観光振興の状況	・井川地区内・施設入込客数（中山間地振興課ほか） ・主要施設利用者数（中山間地振興課ほか） ・交通機関利用者数（井川支所、交通政策課ほか）
	産業振興の状況	・井川地区事業所数及び従業員数
	地域を取り巻く環境	・井川地区の人口及び世帯数 ・井川地区の高齢化率 ・静岡市立井川小中学校 児童・生徒数（教育総務課）

(2) モニタリングの概要

1) 水質調査

① 調査項目

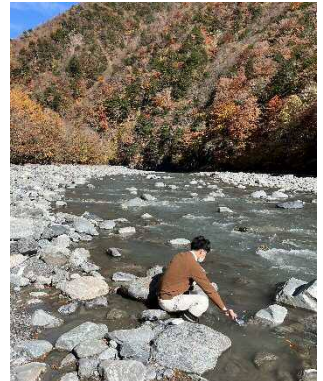
水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、
カドミウム、鉛 ほか

② 調査地点及び時期

剗石 (5月、11月)、燕沢 (5月)、
西俣ヤード付近 (5月)、藤島沢付近 (11月)
大井川本流樫島付近 (5月、11月)

③ 調査結果

水質基準値や市内河川の水質データとの比較により、
調査地点は良好な水質であることが確認された。



水質調査での採水の様子

2) 動植物調査

① 調査項目

植物、哺乳類、両生類、淡水魚類

② 調査地点及び時期

大井川源流域及び中央新幹線建設事業に伴い環境
保全措置を実施した地点 (5月～9月)

③ 調査結果

確認された12種の指標種・重要種は、「中央新幹線
環境影響評価手続」及び平成26年度から実施している
本調査で確認されている種であった。



ヒトツバテンナンショウ

3) ライチョウの生息状況把握調査

① 調査内容

目視調査、痕跡調査

② 調査場所及び時期

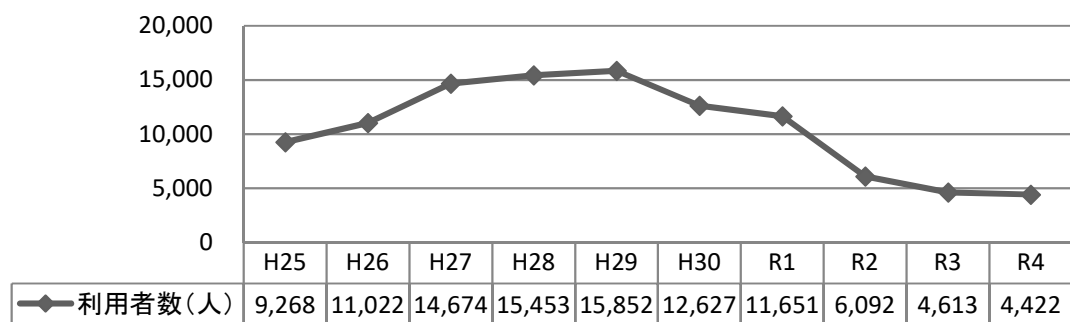
南アルプス南部 上河内岳～イザルガ岳周辺 (6～10月)

③ 調査結果

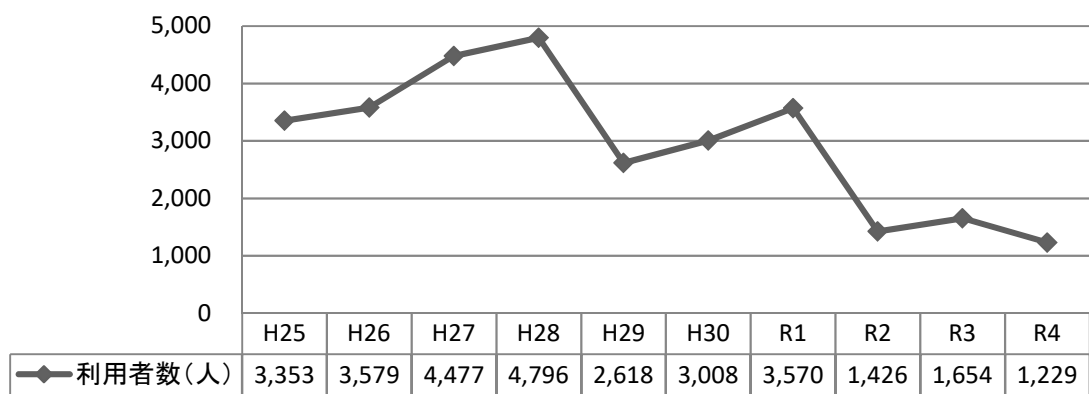
上河内岳からイザルガ岳でのライチョウのなわばり数は合計2なわばりと推定
された。

4) 環境教育・学習の状況

① 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家利用者数



② 静岡県「県民の森」利用者数



5) 伝統文化等の保存状況

① 県指定文化財

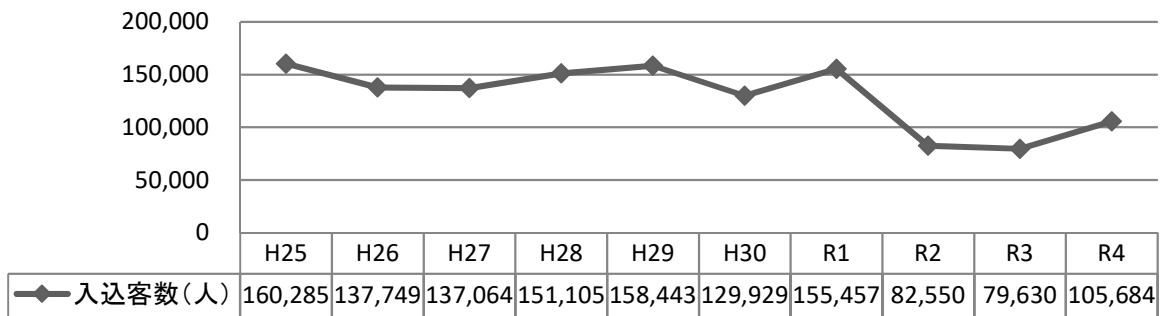
種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	彫刻	木造千手観音立像 ほか3 軀附1 軀	H17. 11. 29	葵区井川 中野観音堂	観音堂別当
民俗文化財	無形民俗文化財	ヤマメ祭	H17. 11. 29	葵区田代	諏訪神社氏子会

② 市指定文化財

種別	区分	名称	指定日	所在地	所有者
有形文化財	建造物	田代の一間造りの 民家	H11. 6. 21	葵区田代	個人蔵
有形文化財	工芸品	鰐口	H20. 3. 26	葵区井川	中野観音堂

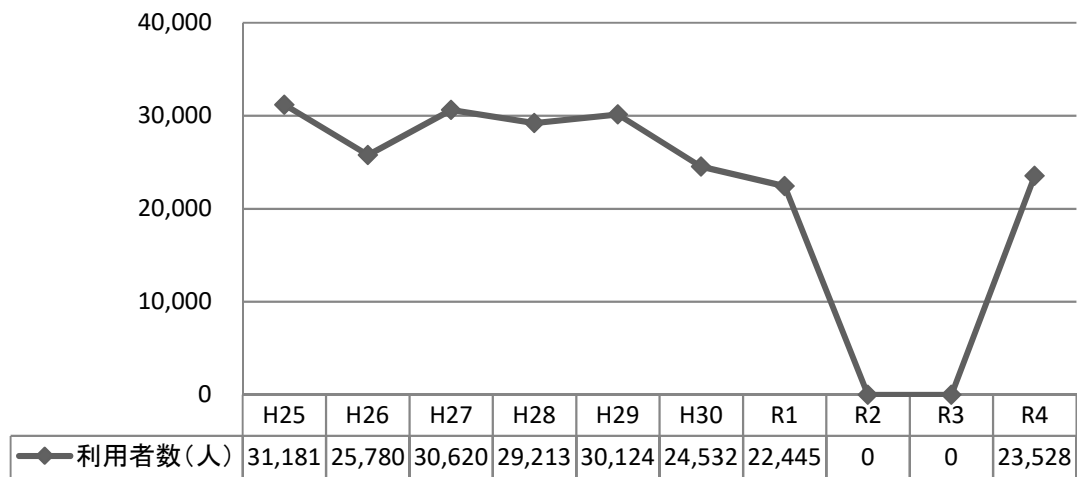
6) 観光振興等の状況

① 井川地区内・施設入込客数



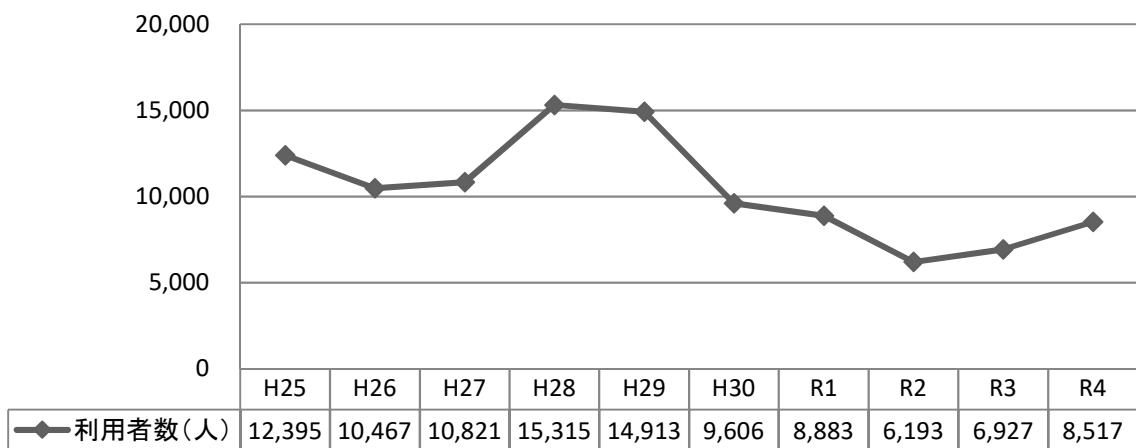
② 主要施設等利用者数

ア) ロッジ、山小屋等利用者数

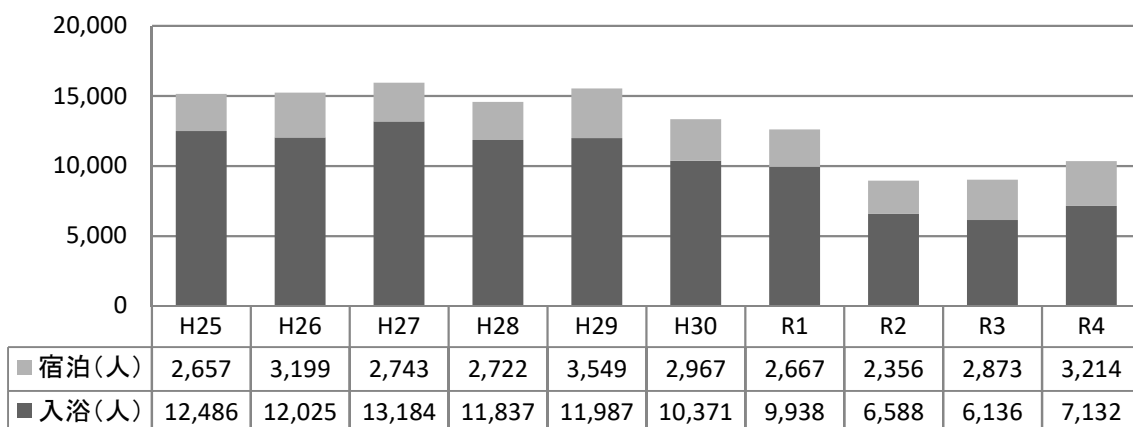


※令和2、3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により休業

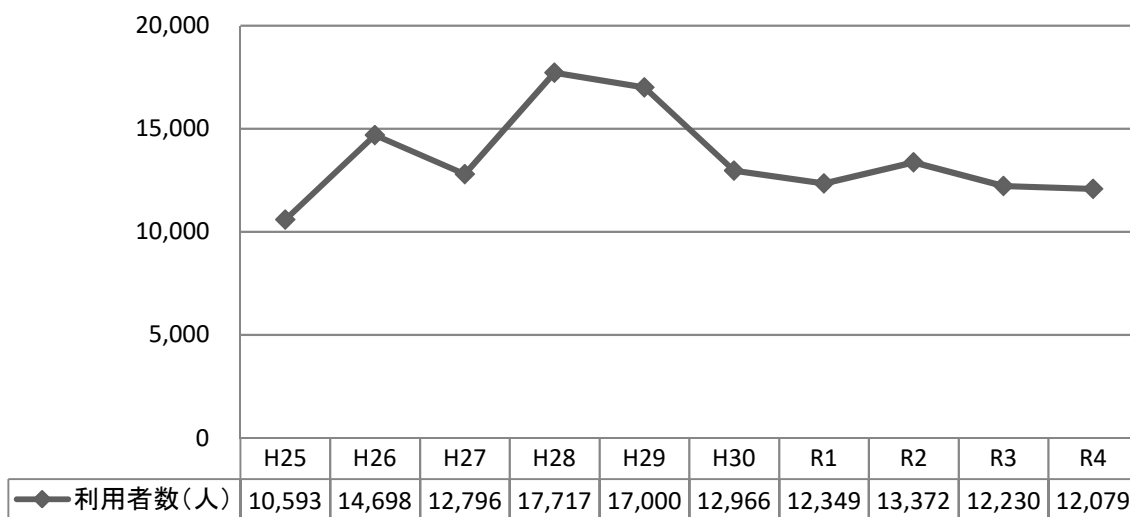
イ) 南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター利用者数



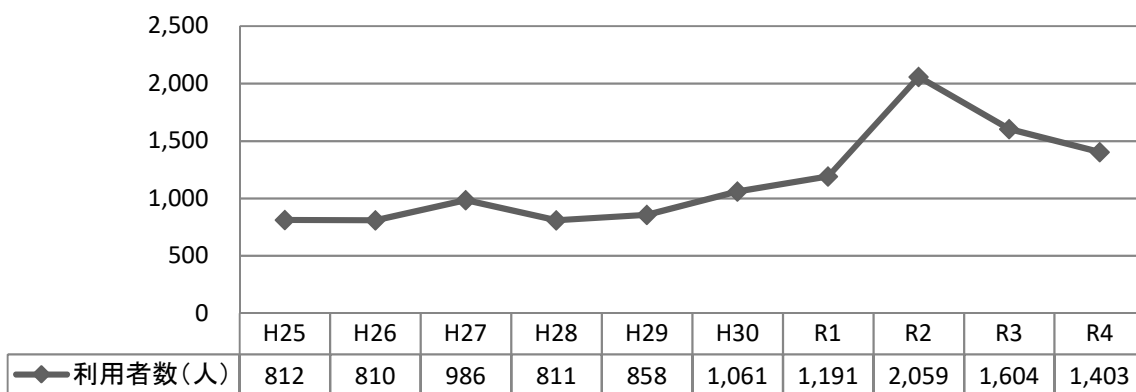
ウ) 南アルプス赤石温泉「白樺荘」利用者数



エ) リバウエル井川スキー場利用者数

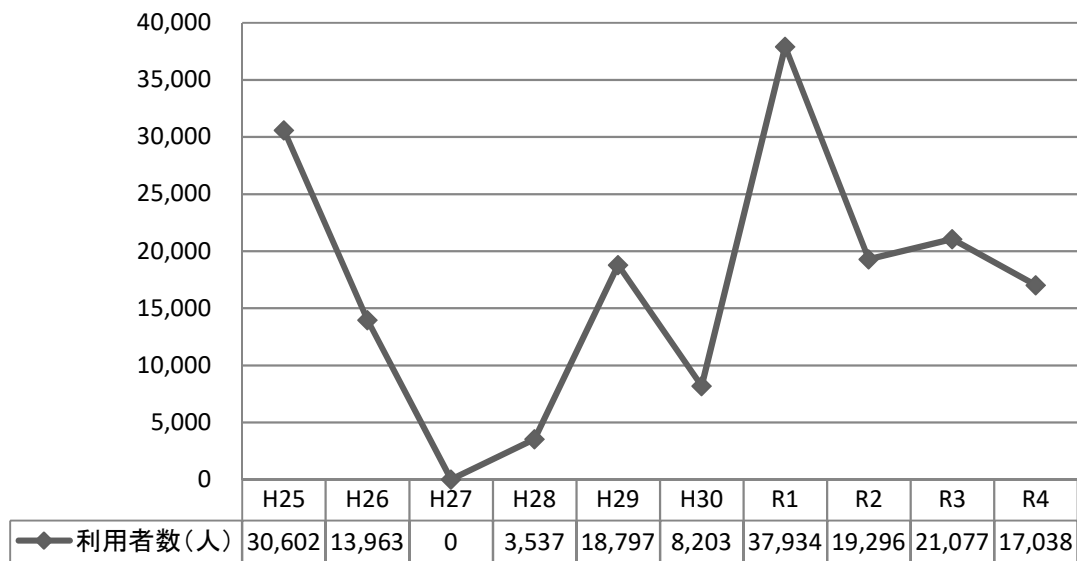


オ) 南アルプス井川オートキャンプ場利用者数



③ 交通機関利用者数

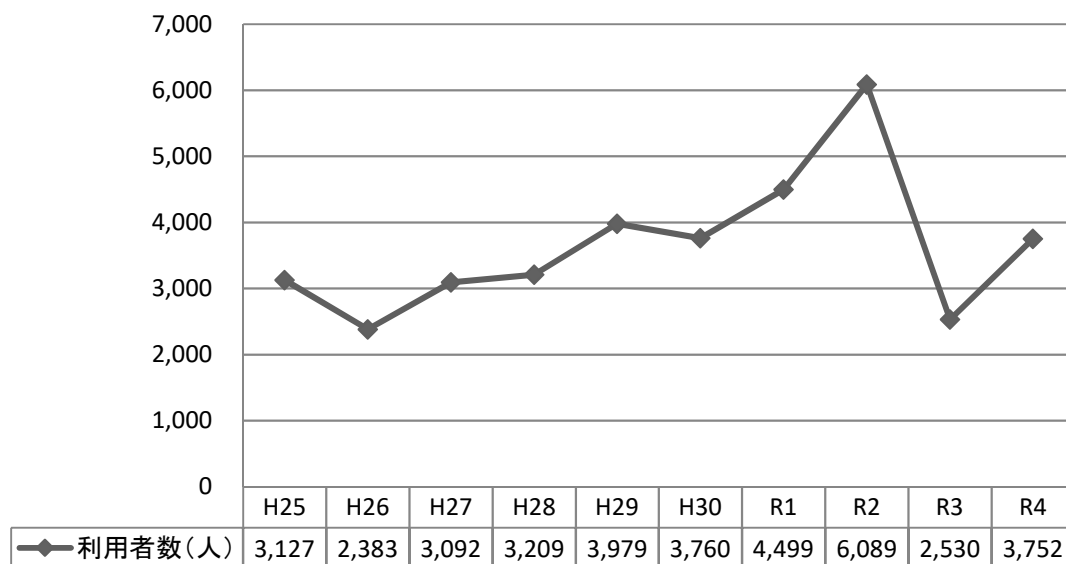
ア) 大井川鐵道井川線（井川駅）利用者数



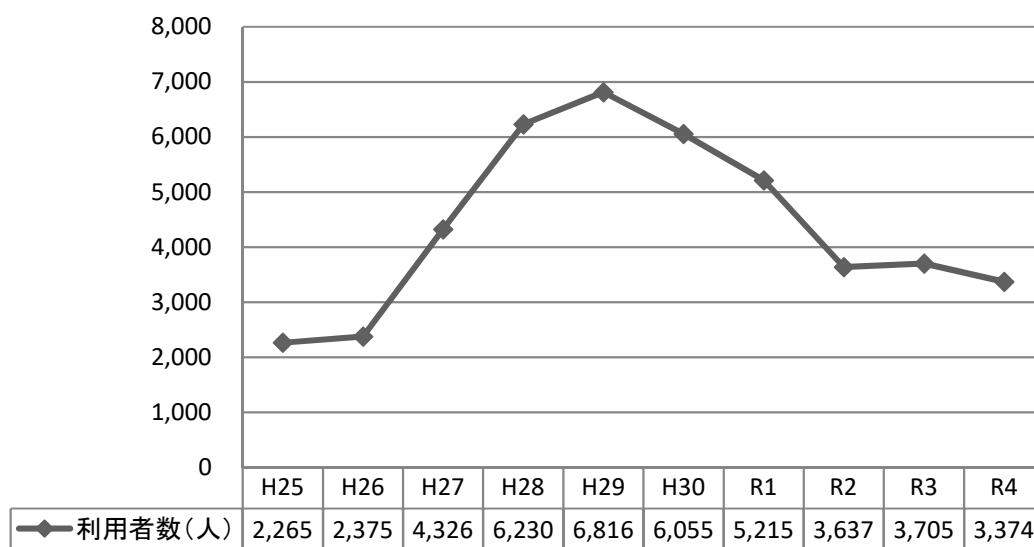
※平成26年9月2日～平成29年3月10日 井川線（接岨峡温泉駅～井川駅間）崩土により運休

※平成30年5月8日～平成31年3月9日 井川線（閑蔵駅～井川駅間）崩土により運休

イ) 井川湖渡船利用者

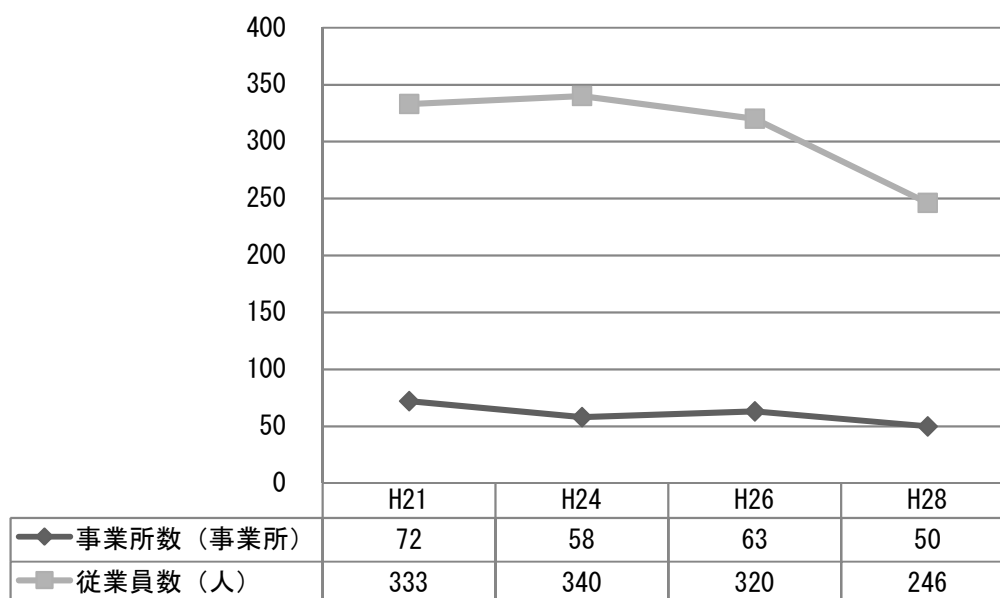


ウ) 井川地区自主運行バス利用者数



7) 産業振興の状況

① 井川地区事業所数及び従業員数

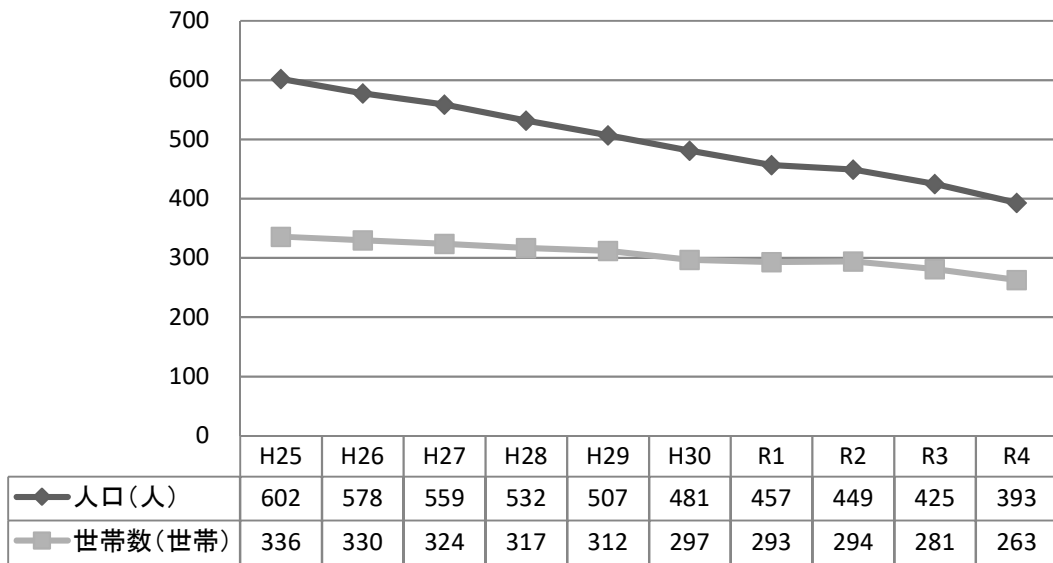


※H21、H26：経済センサス基礎調査（各年7月1日現在）

H24、H28：経済センサス活動調査（平成24年2月1日、平成28年6月1日現在）

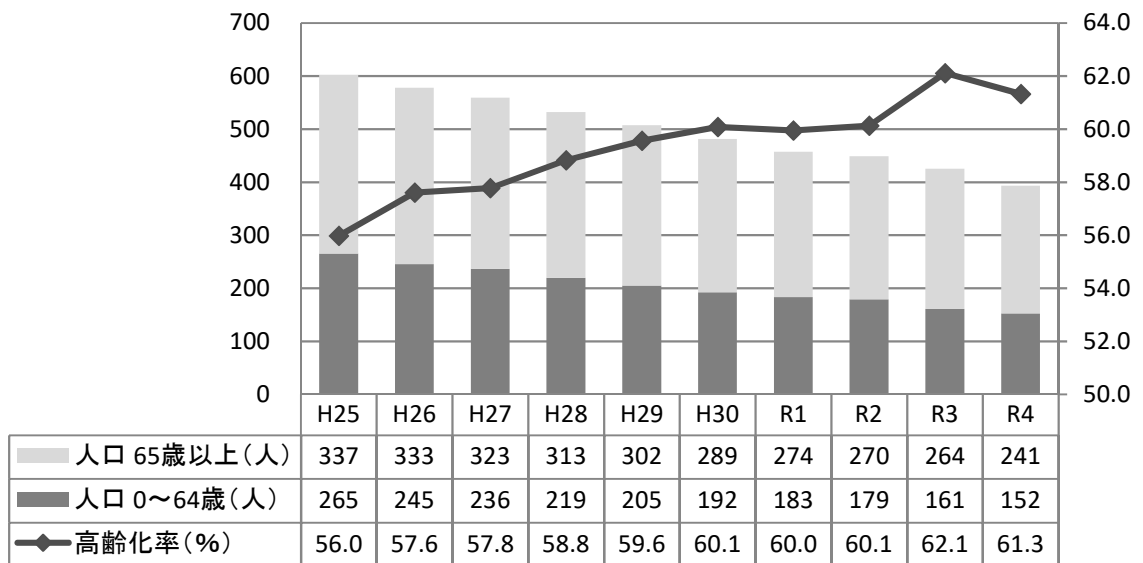
8) 地域を取り巻く環境

① 井川地区の人口及び世帯数



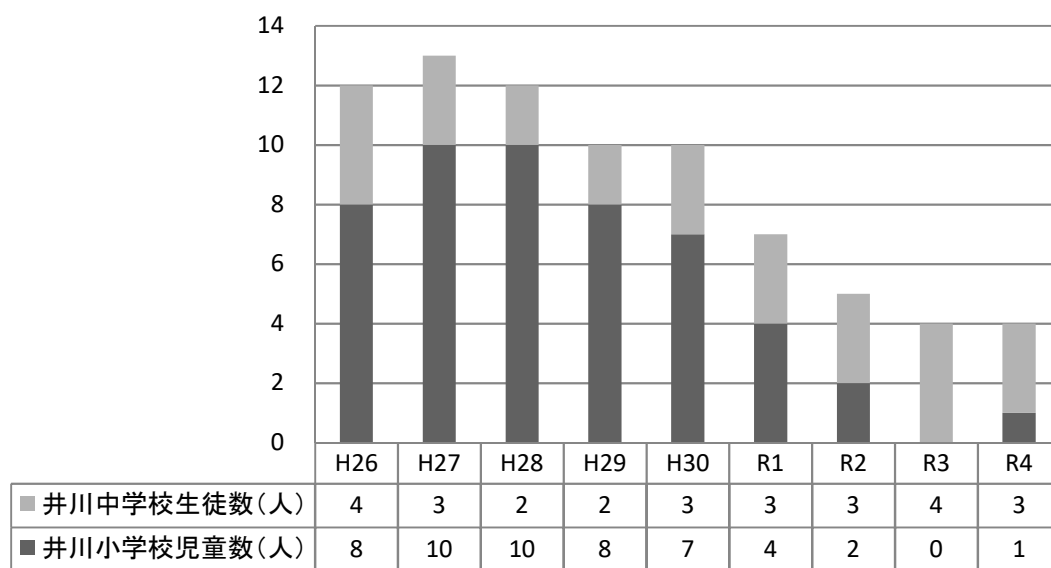
※各年9月30日現在

② 井川地区の高齢化率



※各年9月30日現在

③ 静岡市立井川小中学校 児童・生徒数



※各年5月1日現在

6 中期実行計画 総合分析

静岡市南アルプスユネスコエコパーク事業の推進にあたっては、静岡市環境政策連携統括会議において、関係局等の連携の確保及び総合的な調整を行います。

同会議の関係局が所管している事業について、各局が令和4年度の実施計画を分析し、それを総合的に分析した結果（課題の抽出とその改善策・今後の方向性）を以下のとおり示します。

令和4年度の実施計画	P 3～32「令和4年度の実施計画内容」のとおりに示す。
------------	------------------------------

評価指標の状況	7項目のうち、5項目が令和4年度において目標達成見込みとなり、2項目が令和4年度の目標達成に向けて要調整という状況である。 なお、評価指標の基準年度は、7項目のうち3項目が平成30年度、1項目が平成29年度、1項目が平成25年度となっている。 また、市政アンケートモニター調査により4年に1度把握する指標が2項目となっているため、それらの項目に記載している進捗状況は参考数値となる。
---------	--

基本方針の柱	計画の実行に係る課題	改善策・今後の方向性
1 自然環境の保全	① 中央新幹線建設事業の実施に伴い、工事の進捗状況や過去の調査結果をふまえた調査規模、調査地区等の適正な選定が必要とされる。 ② 南アルプスの自然の象徴である高山植物と、希少なライチョウの保護を拡大するために、市民への周知・啓発及び市民が参加できる施策の展開が必要である。	① 工事の進捗状況を踏まえつつ、引き続き動植物調査を実施する。これらの環境調査の結果をもとに、事業者へ情報提供を行い、必要に応じて指導・要望等を行う。 ② 市内高校生を対象とした「高山植物保護セミナー」を継続的に実施し、将来の活動の担い手育成を図るとともに、ライチョウサポーターに対する情報提供の呼びかけや他地域のライチョウサポーター活動との連携した事業を実施する。
2 調査と教育	① 制作したエコパーク学習用ビデオの貸出や出前授業の利用の促進、次世代エネルギーパークの教育拠点としての活用が必要である。 ② 井川ビジターセンターにおいて、自然との共生の学習や、観光・登山情報の収集など、来訪者	① 制作したビデオや配布教材を活用した出前授業を教育機関等にもPRするとともに、次世代エネルギーパークの紹介動画の公開やパンフレットの活用により市内外へ広くPRする。 ② エコパークの拠点施設として、来訪者の様々なニーズに対応した情報発信により、南アルプスの魅力を伝え来訪者の増

	のニーズに対応できる魅力ある施設としての運営が必要である。 ③ 自然体験活動指導者登録者数を維持及びスキルアップの機会を確保するとともに、指導者の自然や歴史、伝統文化等に対する興味関心を引く教育プログラムの整備が必要である。 ④ 静岡型体験観光プログラムの開発にあたり、地域間ネットワークの構築と、プログラムの提供主体となる地域の人材や組織の育成が必要である。	加を図る。 ③ 自然体験活動指導者の育成と主催事業への協力を継続するとともに、フォローアップ研修への参加促進、関係機関と連携した自然や歴史、伝統文化等の体験活動プログラムの整備・充実を図る。 ④ プログラムの提供主体への聞き取り調査や、協働により体験プログラムの商品化に向けた地域の受入れ体制の確立を目指す。
3 地域の持続的な発展	① 移住・定住の促進に向けて、関係課や関係機関と連携した取組や情報共有、ターゲットごとの情報発信が必要である。また、空き家情報バンク登録件数や、移住促進に取組む地域団体・人材が不足している。 ② 井川地域への更なる誘客促進のため、魅力発信の継続、企画立案を行うとともに、歴史文化を案内できる人材（まち歩きガイド）の育成と活躍できる場を確保する必要がある。また井川湖渡船の乗船者数の増加に向け新船舶を活用した企画立案、特産品等の魅力発信の場の確保が必要である。 ③ 旅行会社・旅行者のニーズを的確に把握し、南アルプスや井川地域をより身近に感じられるなどの新たな体験プログラムの更なる充実とプロモーションが必要である。 ④ 南アルプス情報発信サイト「南	① 移住支援相談員との定期的な情報共有をはじめ、関係課との横断的な取組や、民間事業者等との連携による相談会を実施する。また、チラシの配付や広報紙への記事掲載等により空き家バンク登録件数を増やすとともに、地域住民による空き家の掘り起こしなど地域主導型の移住促進を推進する。 ② SNSやホームページを活用した情報発信や、遊歩道や渡船を組み合わせた回遊コースの紹介、まち歩きガイドのツアーへの組み込みを図る。また、新船舶を活用したイベントを通じて、井川の自然とふれあえる観光サービスの充実を図るとともに、井川湖渡船待合所において来訪者と住民等が交流できる場を創出するなど地域の活性化を図る。 ③ モニターツアーを通じた旅行会社・旅行者への継続的な周知及びニーズの聴取、参加者の事後アンケートなどを行い、観光商品の開発や事業内容の見直し、季節・地域を重視したプログラムの検討・実施につなげる。 ④ ニーズに対応したコンテンツの制作や

	プス」のターゲット層の獲得につながるコンテンツの作成や、最新の現地情報提供、ホームページの認知度向上が必要である。 ⑤ 無形民俗文化財の保存団体の構成員の高齢化により、新規構成員の早急な獲得が課題である。 ⑥ 井川自然の家のトレイルランニングコースや井川の冷涼な気候を活かした学校・企業等の合宿の誘致が必要である。また、井川自然の家新館1階に新設した特別室(個室)の利用者増加に向けたPR活動の強化が必要である。 ⑦ 地域住民及び団体が地域課題を認識し、地域課題の解決に向けた取組等を実施できる体制を整備していく必要がある。 ⑧ 地域おこし協力隊について、任期終了後の定住や、地域住民との協働体制の構築に課題がある。 ⑨ 台風等自然災害による路線バスや鉄道の減便・運休の影響があったため、乗継や需要に見合った時刻・ルートの見直しが必要である。 ⑩ 道路改良やトンネル補修、自然災害防除、橋りょうの耐震化・健全化事業の実施には、測量、設計及び地権者等との交渉、用地処理などに時間を要し、交通規制に伴う道路利用者の影響も大きい。 ⑪ 近年の登山ブームに伴う山間地への新規訪問客増加による登山道及び山小屋に関するあり方を見直	地域と連携した最新情報の提供を行い、ホームページの充実を図るとともに、ホームページ、SNS 公式アカウントの積極的なPRを行う。 ⑤ 無形民俗文化財に対する認知や関心を高めるため、無形民俗文化財公開事業を継続的に実施し、その魅力を発信していく。 ⑥ トレイルランニングコースの利用促進を軸にしたPR活動を推進する。また、Facebook やホームページ等による情報発信に加えて、井川自然の家主催事業参加者に特別室(個室)の利用を促し、認知を高める。 ⑦ 自治会連合会の取組への参画者を増やし、持続力ある住民主体のまちづくりを推進するとともに、他地域との連携による地域課題解決に向けた取組を支援する。 ⑧ 起業を考える地域おこし協力隊の支援や定期的なヒアリングを実施し、行政、地域住民との連携体制を強化する。 ⑨ 路線バスや鉄道との乗継がしやすい運行ダイヤに改正し、回遊性の向上を図るとともに、地域内イベントとの連携等により利用促進を図る。 ⑩ 県道三ツ峰落合線及び主要地方道南アルプス公園線のトンネル新設にあたり、事業者と連携・協力し早期完成を目指す。トンネル補修や自然災害防除、橋りょうの耐震化・健全化には、道路利用者との合意形成や道路パトロール、点検等により利用者の安心・安全を維持する。 ⑪ 登山道の安全確保と隣県自治体との登山案内看板の統一化に関する連携調整、登山前の健康管理に関する注意喚起等を
--	---	--

	す必要がある。 ⑫ ヘリコプターでの救助も含め継続的な連携訓練により山岳救助に必要な特殊技術・知識を習得し連携体制を強化する必要がある。また、南アルプスの森林限界以下（樹林帯）登山道における活動拠点を整備する必要がある。	強化する。 ⑫ ヘリコプターでの救助も含め年間計画に基づき定期的な訓練を実施し、災害対応力の強化、技量向上を図る。また、地権者とのヘリコプターの活動拠点の調整や、定期的な調査により安全性、有効性の観点からヘリの活動拠点の変更、追加及び削除を行う。
4 理念の継承と管理運営体制の構築	① アフターコロナにおける訪日旅行の認知度回復に向けて、海外向けのプロモーション事業の内容や方法を検討する必要がある。 ② 地域住民のユネスコエコパークの理念や取組への意識醸成が必要である。 ③ 井川自然の家における、南アルプスユネスコエコパークの理念をより反映させた活動プログラムの整備・充実が必要である。	① ホームページを活用した魅力発信を行うとともに、国ごとの訪日旅行の需要回復の傾向を注視しながら誘致活動の方法を検討する。 ② 関係各課や地域住民、事業者等と連携した啓発事業を実施する。 ③ 既存の活動プログラムを見直すとともに、関係機関と連携し、南アルプスユネスコエコパークの理念について理解を深める活動プログラムを提供する。

(参考) 各事業の令和4年度事業計画及び実施結果

No.	事業名	基本方針 の柱	令和4年度事業計画	事業実施結果	所管課	頁
1	移住希望者向け情報発信事業	3	・移住支援センター運営 ・移住相談会開催 ・Webサイト等での発信	・移住支援センター運営 ・移住相談会開催 ・Webサイト等での発信	企画課	18
2	井川湖渡船運航事業	3	・渡船運航 ・渡船施設の維持管理 ・旧待合所解体	・渡船運航 ・渡船施設の維持管理 ・旧待合所解体	井川支所	24
3	井川湖畔遊歩道管理事業	3	・広報・PR活動 ・まち歩きガイド説明 ・維持管理	・広報・PR活動 ・まち歩きガイド説明 ・維持管理	井川支所	26
4	葵区魅力づくり事業	3	・地域住民と打ち合わせ ・事業の協働実施	・地域住民と打ち合わせ ・事業の協働実施	葵区役所 地域総務課	15
5	静岡体験型観光推進事業	2, 3, 4	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	・教育旅行誘致活動 ・体験プログラムの開発	観光・MICE 推進課	12
6	海外プロモーション事業	4	・現地プロモーション ・情報発信	・情報発信	観光・MICE 推進課	31
7	無形民俗文化財の公開事業	3	・大神楽祭2023の実施 ・アンケート調査	・大神楽祭2023の実施 ・アンケート調査	文化財課	23
8	中山間地域への再生可能エネルギー導入促進事業	3	・まちづくりモデルの推進	・まちづくりモデルの推進	環境創造課	20
9	南アルプス環境調査事業	1, 2	・モニタリング調査 ・発生土置き場予定地植生調査	・モニタリング調査実施・公表 ・発生土置き場予定地現地調査実施	環境創造課 (現 環境共生課)	6
10	静岡市森林環境アドプト事業	3	・葵区清沢地区における森林整備の実施	・葵区清沢地区における森林整備の実施 ・間伐材の活用 ・参加企業への認定証授与 ・新規寄付企業の開拓 ・普及啓発	環境創造課	21
11	静岡市次世代エネルギーパーク推進事業	2	・普及啓発、活用推進	・普及啓発、活用推進	環境創造課	13
12	高山植物保護事業	1, 2	・防鹿柵設置、維持管理 ・担い手育成	・中岳避難小屋、千枚小屋、熊ノ平小屋周辺防鹿柵設置、維持管理 ・高山植物保護セミナー(事前学習会、現地体験学習、事後学習会)の実施	環境創造課 (現 環境共生課)	4
13	ライチョウ保護事業	1, 2	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運営	・生息状況把握調査 ・普及啓発事業の実施 ・ライチョウサポーター制度の運営	環境創造課 (現 環境共生課)	5
14	普及啓発事業	3, 4	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信 ・海外への情報発信 ・首都圏、中京圏での情報発信	・構成市町村連携による情報発信 ・市内、県内における情報発信 ・中京圏での情報発信	環境創造課 (現 環境共生課)	18

15	南アルプス情報発信事業	3, 4	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・南アルプス南部登山関係情報の発信 ・HPによるイメージソングの配信	・HPによる情報発信 ・井川地域の魅力発見 ・井川地域でできる自然体験等の情報発信 ・井川地域の歴史・文化等の情報発信 ・タイムラプス映像の編集・発信 ・Instagramによる情報発信 ・南アルプスライブ映像配信 ・HPによるイメージソングの配信	環境創造課 (現 環境共生課)	16
16	南アルプス教育推進支援事業	2, 4	・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施	・教育教材の活用 ・南アルプスユネスコエコパーク出前授業の実施	環境創造課 (現 環境共生課)	8
17	南アルプスユネスコエコパーク登録周年記念事業	3, 4	・8周年普及啓発活動 ・10周年記念事業の検討	・8周年普及啓発活動の実施 ・10周年記念事業に向けた準備	環境創造課 (現 環境共生課)	20
18	中央新幹線建設事業発生土置き場における植生回復事業	1, 2	・事業者、専門家等との検討、計画、実施	・事業者、専門家等との検討、計画、実施	環境創造課 (現 環境共生課)	5
19	静岡市南アルプスユネスコエコパークにおける林道の管理に関する条例の啓発事業	1	・市HP及び標識による啓発	・市HP及び標識による啓発	治山林道課	3
20	南アルプスユネスコエコパーク地域内林道の管理事業	1, 3	・林道管理 ・林道の通行者管理 ・トンネル点検、路肩補修等	・林道管理 ・林道の通行者管理 ・トンネル点検、路肩補修等の実施	治山林道課	7
21	南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンター活用事業	3	・情報発信フロア提供	・情報発信フロア提供	中山間地振興課	13
22	南アルプス周辺登山道整備事業	3	・登山道調査 ・登山道修繕 ・山小屋調査 ・山小屋消防設備点検	・登山道調査 ・登山道修繕 ・山小屋調査 ・山小屋消防設備点検	中山間地振興課	17
23	中山間地域移住促進事業	3	・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援	・空き家情報の発信 ・移住者支援 ・受入地域支援	中山間地振興課	23
24	野生鳥獣被害対策事業	3	・助成 ・有害鳥獣捕獲	・助成 ・有害鳥獣捕獲	中山間地振興課	21
25	地域おこし協力隊配置事業	3	・協力隊による地域おこし ・補助金交付 ・新規隊員募集	・協力隊による地域おこし ・補助金の交付 ・新規隊員募集	中山間地振興課	15
26	オクシズ元気ビジネス支援事業	3	・専門家の派遣 ・補助金の交付	・補助金の交付	中山間地振興課	16
27	林業担い手育成対策事業	3	・補助金等の交付	・補助金交付	中山間地振興課	22
28	井川地区自主運行バス運行事業	3	・自主運行バスの運行(365日稼働)	・自主運行バスの運行(365日稼働)	交通政策課	27

29	静岡市道路休憩施設利用促進事業	3	・ 広報活動	・ 広報活動	道路計画課	26
30	道路改良事業	3	・ 整備箇所の選定 ・ 測量、設計 ・ 工事	・ 整備箇所の選定 ・ 測量、設計 ・ 工事	道路計画課	27
31	道路トンネル補修事業	3	・ 点検、調査・設計、補修工事	・ 点検実施	道路保全課	27
32	道路自然災害防除事業（法面）	3	・ 点検、測量・設計、用地買収・補償、対策工事	・ 災害防除工事	道路保全課	28
33	橋りょうの耐震化及び健全化事業	3	・ 点検、調査・設計、補修工事	・ 橋りょうの健全化	道路保全課	28
34	千代田消防署井川出張所維持管理事業	3	・ 消防体制の維持	・ 庁舎の維持管理を実施	財産管理課	28
35	山岳救助体制整備事業	3	・ 山岳救助体制の充実 ・ 山岳救助支援員の指名	・ 山岳救助体制の充実 ・ 山岳救助支援員の指名	安全対策課	28
36	ヘリコプター南アルプス活動拠点指定事業	3	・ 赤石登山道レスキューポイント整備 ・ 聖岳登山道レスキューポイント（乗越）の地上調査	・ 聖岳登山道レスキューポイント（乗越）の上空及び地上調査実施 ・ 新規レスキューポイント検討場所の地上調査実施	警防課	29
37	自然体験活動指導者育成講座事業	2, 4	・ 自然体験活動指導者育成	・ 自然体験活動指導者育成講座実施	教育総務課	9
38	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家主催事業	2, 3, 4	・ 主催事業の実施	・ 主催事業の実施	教育総務課	9
39	学校教育との連携による野外活動、宿泊指導等の自然体験活動提供事業	2, 4	・ 自然体験活動の提供	・ 自然体験活動の提供	教育総務課	11
40	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家PR活動事業	2, 3	・ PR活動の実施	・ チラシ・ポスター等の配付・掲示 ・ 主催事業リピーターに向けたメール配信 ・ ホームページによる情報発信 ・ Facebook等SNSによる情報発信 ・ 校務支援システムの活用・広報	教育総務課	12
41	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家整備事業	2, 3	事業完了	事業完了	教育総務課	-
42	社会科副読本との連携事業	2, 4	・ 副読本のデジタル版作成（改訂）、クロームブックでの閲覧環境整備	・ 副読本のデジタル版作成（改訂）、クロームブックでの閲覧環境整備	学校教育課	11

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）
中期実行計画 年次報告書（令和４年度）

発行年月 令和５年 11 月

発 行 静岡市環境局環境共生課
静岡市葵区追手町 5 番 1 号

電話 054-221-1357 FAX 054-221-1492

E-mail kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp

URL https://www.city.shizuoka.lg.jp/041_000006.html